令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	50	事業No.	283		
事務事業名	恒川遺跡群保存活用事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	H13	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画			第２次飯田市教育振興基本計画
				史跡恒川官衙遺跡保存活用計画
				史跡恒川官衙遺跡整備基本計画
	法令・例規等			文化財保護法
				長野県文化財保護条例
				飯田市文化財保護条例・同施行規則

事業目的		
	対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群
	意図	恒川遺跡群の実態解明に向け調査・研究を進めるとともに、学習交流の拠点となる史跡公園を整備し、適切に保存活用を行うことで地域づくり、人づくりに繋げます。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	史跡恒川官衙遺跡整備基本計画に基づき、令和２年度から清水エリア・正倉院北側エリアの整備を計画的に進める必要があります。 また地域や各種団体と連携し、史跡や地域の魅力を伝えることのできる「人づくり」に向けた取り組みや、史跡整備に必要な情報を得るための発掘調査を計画的に進める必要があります。 ★重機作業の騒音や、発掘現場からの土砂の飛散や流出防止に対する配慮が必要です。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・清水エリア、正倉院北側エリアの整備工事を実施します。 ・地域及び市内の小学生を中心とした発掘体験会の開催など、地域住民参加型の作業等を検討します。 ・調査計画に基づく発掘調査を実施し、史跡整備に必要なデータの集積を図ります。 ・発掘現場見学会の開催や、情報紙・ホームページ等を活用した情報発信を進めます。 ・史跡外の個人住宅及び民間開発に伴う発掘調査を実施します。 ・事業用地の整地及び除草管理を行います。 ・整備専門委員会を開催します。 ・地域の2000年浪漫の郷の取組と連携協働し、ガイドの育成を支援します。	史跡公園整備工事費	39,987
	史跡整備に伴う発掘調査経費	5,172
	開発に伴う発掘調査経費（史跡外）	3,070
	事業用地管理経費	2,552
	専門委員会等経費	192
	会計年度任用職員	11,623
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
整備進捗率（整備面積Ａ＝2.16ｈａ）	%					0.6		11.1	
整備・管理等における地域との協働回数	件							3	
史跡公園事業地の発掘調査進捗率	%		23.2		27.2	49.5		67.2	
情報発信回数	回		17		19	22		24	
発掘調査見学者数	人		300		40	150		160	
学習支援回数	回		1		1	1		3	
専門委員会の開催数	回		5		2	3		1	
公有地化面積	㎡		7,099.51		5,792.14	3,495		0	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	62,596
国庫支出金	28,800
県支出金	500
地方債	17,500
その他	0
一般財源	15,796

特定財源内訳及び補足事項

（国）国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（１／２）　28,800千円
（県）文化財保護事業補助金（３／100）（県随伴補助、上限500千円）　500千円
（地）一般補助施設（充当率90%）　17,500千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	47,336 0	恒川遺跡群保存活用事業費（補助）
2	1	10	5	3	14	2	3,637 0	恒川遺跡群保存活用事業費（単独）
3	1	10	5	3	1	3	10,264 0	会計年度任用職員人件費（補助分）
4	1	10	5	3	1	3	1,359 0	会計年度任用職員人件費（単独分）
5								
6								
7								